



平成29年7月1日
市議会議員 坂澤博光

平成29年第2回各務原市議会が6月2日(金)から6月23日(金)まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 平成29年度一般会計補正予算

新庁舎の建設に伴い、現庁舎の一部解体の設計委託や航空宇宙博物館のリニューアルに伴う道路案内看板の更新、総合運動公園サッカーコート整備などの費用で、約2億5千万円増額し、補正後の予算総額を約469億8千万円としました。

2 参考情報

(1) 新庁舎建設の進み具合

新庁舎は、現在の本庁舎の敷地内に建設予定です。

概略のイメージとしては、現庁舎南側の低層階を解体し現庁舎の南側に新庁舎を建設その後、現庁舎を解体して駐車場にする予定です。

平成29年度は基本設計、30年度に実施設計、そして31年度に建設工事の予定です。

(2) 航空宇宙博物館のリニューアル

航空宇宙博物館は、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」と名称を改め、平成30年3月24日にオープンする予定です。

現在の収蔵庫展示は11月で終了し、3月のオープンの日まで全面休館になります。リニューアル後、中学生以下の入館料金が現在300円のところ無料になります。



4 スパークの一般質問

(1) 義務教育期間中のタブレット端末等の検索機能の活用について

問：義務教育にタブレットを導入する際の長所と短所は。

答：長所としては、一斉学習に加え個別学習や児童生徒同士が教え合い、学び合う協働的な学習など多様な学び方が可能になることです。

短所としては、児童生徒の「手書き」の作業量が減ることが挙げられます。

問：義務教育期間中に児童・生徒に身に付けさせるべきものは何か。

答：学習面では、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を育むこと、そして主体的に学習に取り組む力を養うことが大切です。

問：義務教育期間中におけるタブレットの検索機能の活用をどう考えるか。

答：各教育活動の中で、活用の目的や場面などを明らかにし、その利点を活かしながら、

児童・生徒の学びに効果的に働くように活用することが大切だと考えています。
タブレット端末等は児童生徒の思考力や判断力を育成するためのツールとして有効に活用しなければなりません。

(2) 国民保護計画（弾道ミサイル発射事案）の周知、対応について

問：国民保護計画の概要は。

答：弾道ミサイル発射事案などにおいて、市民の皆様の生命、身体及び財産を保護するため、国、県、市及び関係機関の役割分担や、市民の皆様の協力並びに避難要領などを定めた計画です。

対象とする事態は、弾道ミサイルによる攻撃のほか、ゲリラや特殊部隊による攻撃、航空機による攻撃などの武力攻撃事態と緊急事態対処があります。

問：弾道ミサイルが発射された場合、市民への周知の方法は。

答：発射を確認した内閣官房は、直ちにJアラートと呼ばれる全国瞬時警報システムにより、注意が必要な地域の防災無線を自動的に起動させ、サイレン音、発射されたミサイルの情報、避難の呼びかけ等を放送します。

Jアラートの情報は、携帯電話の事業者を通じてエリアメールや緊急速報メールとして携帯電話に配信されます。

さらに、緊急情報ネットワークシステムにより、同様の情報がテレビ放送、ラジオ、インターネットを通じて配信されます。

○Jアラートによる弾道ミサイル発射情報を屋外で確認した場合

- ・近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する
- ・近くに適当な建物がない場合、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る

○屋内で確認した場合、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する

(3) 自治会経由による配布物の負担軽減について

問：自治会経由による配布物の負担軽減を検討すべきではないか。

答：自治会長さんの負担軽減の観点から

- ・真に配布物として配布すべきものであるかどうかを精査する。
 - ・配布物が複数枚にならないよう簡潔な内容にする。
 - ・広報紙に掲載されている事項と重複するような配布物は極力避ける。
- などを徹底するとともに、紙媒体以外の情報発信への移行を検討していきます。



第 18 回市政報告会

とき：平成29年7月29日（土）13時30分から1時間半

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp